



四日市で研修を始めた時、最初に戸惑ったのは患者さんの症状の表現でした。「胸がずつない」「胸があおる」。最初何を言っているんだろう、と思いました。でも段々、上記の主訴はACSの陽性尤度比3くらいに匹敵するくらい苦しいんだなという事に気がきました。こちらの病院に来て新しく耳にした表現は「胸がヒャーヒャーする」です。「ヒャーヒャー」なんていかにも苦しそうです。このように、地域によって色々な表現があるんだなと思い、それがどのような状態を表しているのか理解できるようになるのも大事だなと思いました。あと、岩清水豚、新姫ドリンク、熊野古道ビール、花梨等饅頭、非常に美味しゅうございました。大好きです。僕は8/17誕生日でして、熊野には只ならぬ親近感を持っておりまして、今年は人生初、熊野花火を見る予定です。楽しみだ。 文責：栃木宏介

紀南病院では多くの先生方に指導して頂き、また多くの患者さんを診させて頂いたことで、以前より自信を持って診療に臨めるようになりました。また熊野古道巡り、田植え、ダイビングなど大自然を満喫しました。今回の私の研修を支えて下さった全ての方にお礼申し上げます。

さて今回の研修で最も私の心に残っているのはタウンミーティングです。医師と患者が円座になってざっくばらんな健康相談を行うという風景は私が普段働いている東京では想像すらしていないものでした。

月並みな表現ですが、医師と患者の心理的な距離は物理的な距離とは全く別物であるように感じました。

今回の研修で得たものを糧として今後の医師人生を邁進して参ります。

文責：宮原 潤也



この1ヶ月は振り返ってみるとあっという間でしたが、いろんな初体験もあり、紀南病院に来た日は随分前の事のように思います。普段の研修病院ではあまり経験することのない搬送をさせてもらったのですが、行き道のりはとても長く感じました。それは緊張感からだと思いますが、旅行でも行きより帰り道の方が早く感じますよね。人間初めての事は長く感じるものだそうです。人生、生まれてから20歳までと、20歳から死ぬまでに感じる長さは同じと聞いたことがあります。長く生きてると初体験の事が減ってきて、いろんなことに慣れるからだそうです。最近、日々が過ぎるのがとても早く感じます。けど医師としての生活はまだまだ始まったばかり。慣れるということは良いことかもしれませんが、新しいことをたくさん吸収し、1日1日大切にながーく歩いていきたいです。長い人生またお世話になるときがあると思いますが、その時もまたよろしく願います。ありがとうございました。 伊藤 恵梨